

# メプチンスイニングヘラー10 $\mu$ g

採用

表

製品名

メプチンスイニングヘラー

分類

短時間作用型 $\beta$ 2 刺激薬  
(SABA)



裏



## チェック項目 (ピットフォール)

### 吸入前

- 吸入前に、薬剤残量カウンターを確認していない。
- 吸入前に息を吐いていない

### 吸入時

- 吸入直前に、マウスピース (吸入口) に息を吹きかける
- マウスピース (吸入口) に口を当てる前からすい始める
- 吸気口 (空気取り入れ口) を手指や唇で塞いでいる
- 力強く深く吸入をしていない
- 青色ボタンを押したままにしている
- 吸入時、吸入口を隙間なく覆っていない
- デバイスを水平に保って吸入していない
- マウスピース (吸入口) に口を当てたまま  
息を吸ったり吐いたりする
- 吸入直後の息止めをしていない

### 吸入後

- 防湿キャップをしっかりしてめていない
- 吸入後うがいをしていない

- いずれの問題点も発見できなかった

# メフチン スイングヘラー 10 $\mu$ g

メフチン® スイングヘラー 10 $\mu$ g 吸入100回を  
正しくご使用いただくために

## 吸入方法

「メフチン スイングヘラー 10 $\mu$ g 吸入100回」の

吸入方法を説明したものです。

1枚ずつ切り離して、使用される患者さんにお渡してください。



メフチン® スイングヘラー 10 $\mu$ g 吸入100回を  
正しくご使用いただくために

# メプチンスイングヘラー10 $\mu$ g

## メプチン スイングヘラー 10 $\mu$ g 吸入100回 正しい吸入のしかた

お薬の吸入は使用説明書をよく読んでから行ってください。

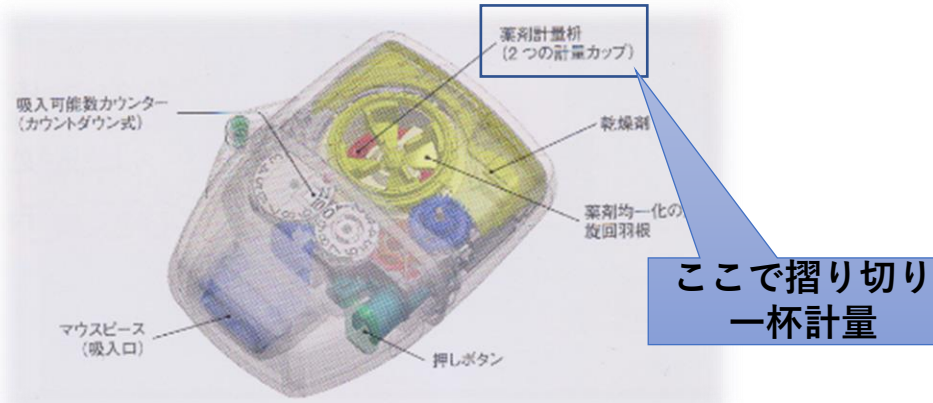
### 吸入器の部分のなまえ



### 吸入可能数カウンターの表示

- 100** 新しい吸入器の表示は“100”です。(100吸入できます)
  - 99** 1吸入ごと(押しボタンを1回押すごと)に数字が減ります。
  - 9** 残りの吸入可能数が“9”以下になると窓の左側がこの表示になります。新しいお薬を用意してください。
  - 1** 残りの吸入可能数は“1”です。
  - 0** 押しボタンを押すとお薬がセットされ“0”になります。(最後の1吸入分を吸入してください。)
- 終了**
- 使用しないでください**
- 0** “0”の表示のものは**使用しないでください**。
  - 0**の表示から更に押しボタンを押すと**×9**の表示になり、押しボタンは完全に戻らなくなります。お薬がセットされませんので**使用しないでください**。

操作は(表面を上)にして、**すべて水平**にして行ってください。



カウンターが“0”になったら終了です。  
薬剤は残っていません

# メプチンスイングヘラー10 $\mu$ g

## メプチン スイングヘラー 10 $\mu$ g 吸入100回 の吸入方法

**はじめに** このお薬には表面と裏面があります。

ラベルに **表(水平)** と表示している面(吸入可能数カウンターのある面)を上面にして水平に持ち、吸入方法にしたがって正しく吸入してください。

カウンターの面を上に向けて水平に持つ



### 防湿キャップを開ける

- 防湿キャップを完全に開け固定します。(開けにくい場合は、少しひねるように開けてください。)



### 押しボタンを押す

- ラベルに **表(水平)** と表示している面(吸入可能数カウンターのある面)を上に向けて持ちます。
- 青色の押しボタンを「カチッ」と音がして止まるころまで押します。(カウンターの数字が1つ減ります。)
- 指の力をぬいて、ボタンを元の状態に戻します。(1吸入分のお薬がセットされます。)



### 息を吐く

- マウスピース(吸入口)をくわえる前に軽く息を吐きます。

**注!** マウスピースに息を吹き込まないでください



### 薬を吸う

- マウスピースと唇の間に隙間ができないようにマウスピースをくわえ、口からは**やく深く**息を**吸い込み**ます。(この時にお薬が吸い込まれます。)
- マウスピースを口から離し、そのまま軽く数秒間息を止めてください。その後、ゆっくりと息を吐きます。
- 2吸入する場合は1分程度の間をおいて④~④の手順を繰り返します。



### 防湿キャップを閉じる

- 防湿キャップをしっかり閉じます。

吸入後はうがいをするように心がけてください。



ホイッスルが音がなると、ちょうど良い吸入速度です。その感覚を覚えてもらいましょう。鳴らない時は、吸入速度が足りませんので疑義照会をしてください

操作は(表面を上)にして、すべて水平にして行ってください。

息吐きをしないと、吸入が十分にできません。十分に息吐きができていないか確認します

通気口(空気取り入れ口)を手や唇でふさがないように指導します



肺内への薬剤の沈着率を高めるため、息止めが必要です。ただし無理をさせないこと

カバーを閉める前に、吸入口を拭くように指導しますもしレバーを戻しても問題はありません

吸入ステロイドは、口腔内カンジダや嘔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをしますそれ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいをを行うように指導します